

キャラクター名
生吹 丞護 (いぶき しょうご)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス		ワークス	中学生	カヴァー	中学生
	モルフェウス					
オプショナル			年齢		性別	男の子
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35	%
出自	安定した家庭	経験	小さな名誉	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	11
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	11
精神	0	0	1			1	戦闘移動	16
社会	2	0	0			2	全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	2		交渉		
回避			知覚	1		意志	1	1	調達	1	
運転：口ポ	6		芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
モーフィング口ポ		0	-	15		運転：口ポ/行動値：-3、装甲：18、全力移動：50m
-----		0	----	----		-----
コンボ1・オレにだって勇氣はある！	運転	9r+6	-	15		コンセ+巨匠の記憶
100↑	運転	13r+6	-	15		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ：噂好きの友人	
思い出の一品	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
申し子	P	N		
家族	P 幸福感	N		
	P	N強い後悔と恐怖 思い		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセ：モルフェウス	2	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	C値-LV							
巨匠の記憶	7	2	Xジャー	-	-	効果参照	-	
効果：	<運転><芸術><知識><情報>と組み合わせることができる。判定ダイス+LV個。							
アンプリフィケーション	3	5	Xジャー	-	-	効果参照	DIIS	
効果：	エフェクトを使用して行うあらゆる判定と組み合わせ可能。攻撃力+[LV×5]。1シナリオ3回。							
レインフォース	7	2	Xジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：	攻撃力+[LV×2]							
クリスタライズ	1	4	Xジャー	-	-	シンドローム	100↑	
効果：	攻撃力+[LV×3]。装甲無視。							
ヴィークルモーフィング	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	ヴィークルモーフィング専用アイテム(P140)から1つ取得し、使用できる。この時、搭乘状態になってもよい。ヴィークルはシーン終了時に失われる。							
スーパーランナー	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動を行う。移動距離+[LV×5]m。1シーン1回。							
不壊の城壁	5	5	オート	至近	範囲選択	自動	100↑	
効果：	HPダメージ算出直後に使用。対象が受ける(予定の)HPダメージを-[LV×10]点する。1シナリオ1回まで。							
無上厨师	★	-	Xジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果：	大気やその場にある物質を使って、あなたがよく知っている料理を作り出すエフェクト。							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

一人称：等身大の一人称はぼく・他の人の前ではオレ/二人称：君、あなた

「オレにだって、勇氣はある！」

ごく普通の学生。あだ名は名前そのままの「ショゴ」。

学校では特別有名というわけでもなく、かといって浮いているわけでもなく、良くも悪くも平凡をキープしている少年。家族は両親と妹がいる。父親が単身赴任で帰って来ない以外、フツウの家(……だと、ショゴは思っている)

普通と少し違うことといえば、ショゴが特撮ヒーローが好きなこと。特にブレイブマンという特撮シリーズにハマっている。中学3年で特撮にハマってる、というのは、なんだか恥ずかしくて周りには言えないでいる。(中1の時、お前まだブレイブマン(特撮)見てるの？と同級生に何気なく言われたことがショックになっている) それこそ小学生の頃や、中学2年生くらいまでは、自分も何らかの事件に巻き込まれてヒーローになれるんじゃないかという期待があったが、子どもっぽい空想なのか、現実には起こりっこないよなあと思い始めていた。

性格もごくごく平凡。友達と年相応の悪ノリもできるが、基本的には常識人。奇抜なこと、目立つことはあまりしたくない。が、内心熱血なノリに憧れがある。でもあまりアツすぎると周りから引かれてしまうのではないかと、それを考えると恥ずかしくて、表には出せないでいた。

<戦闘スタイル>
モーフィング口ポは自身の身体に機械パーツを装着するタイプ(アイアンマンとか変身ヒーロー的なイメージ)